

2025年10月31日

組合員・利用者本位の業務運営に関する取組状況および K P I 実績値の公表について

- 当組合は、すべての活動の原点を「農業」「組合員」「地域」におき、「安心して食べられる農畜産物づくり」「安心して暮らせる地域づくり」「安心して利用できる」JAづくり」の3つの安心作りを理念と掲げています。
- 当組合はこの理念のもと、「組合員・利用者本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、組合員・利用者の皆さまの安定的な資産形成・資産運用との提供を通じて、安心して暮らすことのできる地域社会作りに貢献するための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。
- また、上記とあわせ金融庁より各金融機関に対し公表が期待される「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶうえで比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通 K P I 」）も同時に公表いたします。

（注）共済事業は、当組合と全国共済農業協同組合連合会（JA共済連）が、共同で事業運営しております。

はくい農業協同組合

I.取組状況

1 組合員・利用者への最良・最適な商品、共済仕組みサービスの提供

(1) 信用の事業活動 【原則2本文および(注)、原則3(注) 原則6本文および(注2、3、6、7) 補充原則1～5本文および(注)】

- お客さまに提供する金融商品は、特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、**投資商品の導入にあたっては、投資運用会社のプロダクトガバナンスが有効に機能していることを確認し**、お客さまの多様なニーズにお応えできるものを選びやすさを考慮し選定します。**組合員・利用者の皆さまにより良い商品をお届けするため、投資運用会社と利用者の購入に関する情報を共有し、フィードバックを受け活用しております。**なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客様のニーズに合った商品を取入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。それにより以下のように商品数が増減いたします。
- **なお、組合員・利用者の皆さまの最善の利益の実現につながる取組として、2025年度以降、金融商品を組成する投資運用会社との情報連携を開始予定です。**

<投資信託の取扱い商品ラインナップ(2025年3月末時点)>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 (前年度末：1)	7 (前年度末：7)
株式型	5 (前年度末：5)	6 (前年度末：6)
REIT型	2 (前年度末：2)	3 (前年度末：3)
バランス型	8 (前年度末：8)	

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

<商品選定の考え方>

長期投資

- 長期投資を前提とした投資信託であること

手数料

- 手数料が良心的な水準であること

運用実績

- 過去の運用実績が相対的に良好であること

将来性

- 資産形成層には、過度に分配金を捻出する投資信託ではないこと

運用体制

- 運用体制について、外部機関の評価を得ていること

※商品選定の考え方：JAバンクHP
<https://www.jabank.org/sp/tameru/tousi/sintaku/select/>

I.取組状況

1 組合員・利用者への最良・最適な商品、共済仕組み・サービスの提供

(2) 共済仕組み・サービス

【原則2本文および(注)、原則3(注)、
原則6本文および(注2、3、6、7)、補充原則1～5本文および(注)】

- 当組合は、組合員・利用者の皆さま一人ひとりに寄り添い、加入目的・ライフプラン等に応じた、最良・最適な保障・サービスを提供します。
- 入院期間の短期化や、薬物治療・在宅医療の増加等のがん治療の変化に対する保障ニーズにお応えするため、「がん共済」の仕組改訂を実施しました。
- 市場リスクを有する共済仕組みの提供は実施しておりません。
- 総合満足度は令和7年3月末時点で**95.9%**となっており、高水準を維持しております。
- なお、共済事業については、全共連と共同で事業運営を実施しており、お客さまの声や保障に加入いただいた契約者情報等について相互に連携しております。

I.取組状況

2 組合員・利用者本位の提案と情報提供①

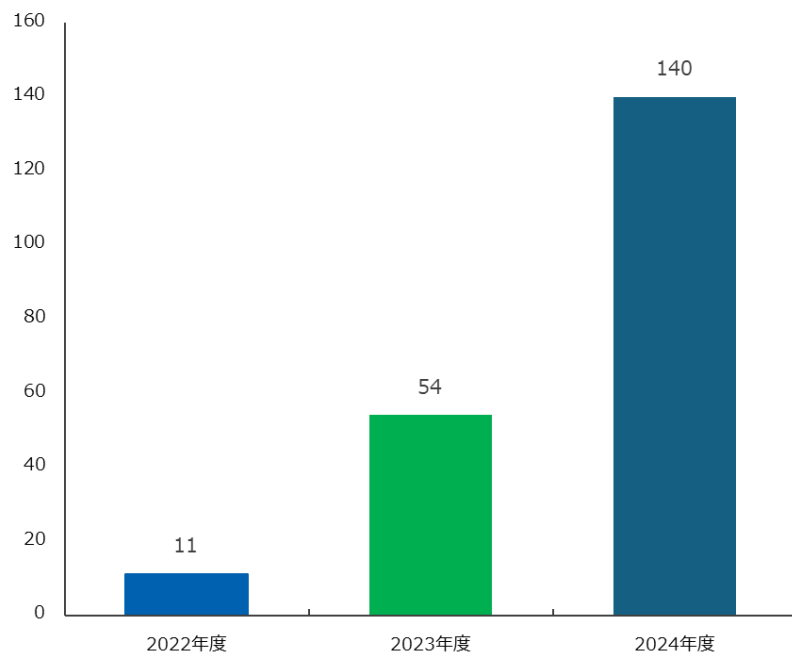
【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1～5)、
原則6本文および(注1～5)】

(1) 信用の事業活動

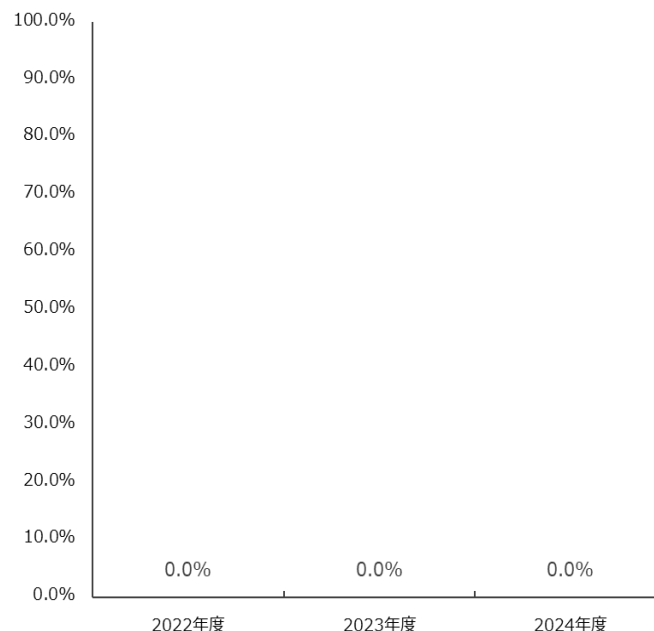
- お客さまに安定的な運用成果をご享受いただくために、お客さまの金融知識・経験・財産、お取引の目的に合わせて適切な情報提供を行うとともに、分散投資・長期投資の有用性をご提案した結果、「投信つみたて」を利用される組合員等が増加しました。

＜投信つみたて契約件数の推移＞

(件)



＜購入額に占める毎月分配型ファンドの比率＞



I.取組状況

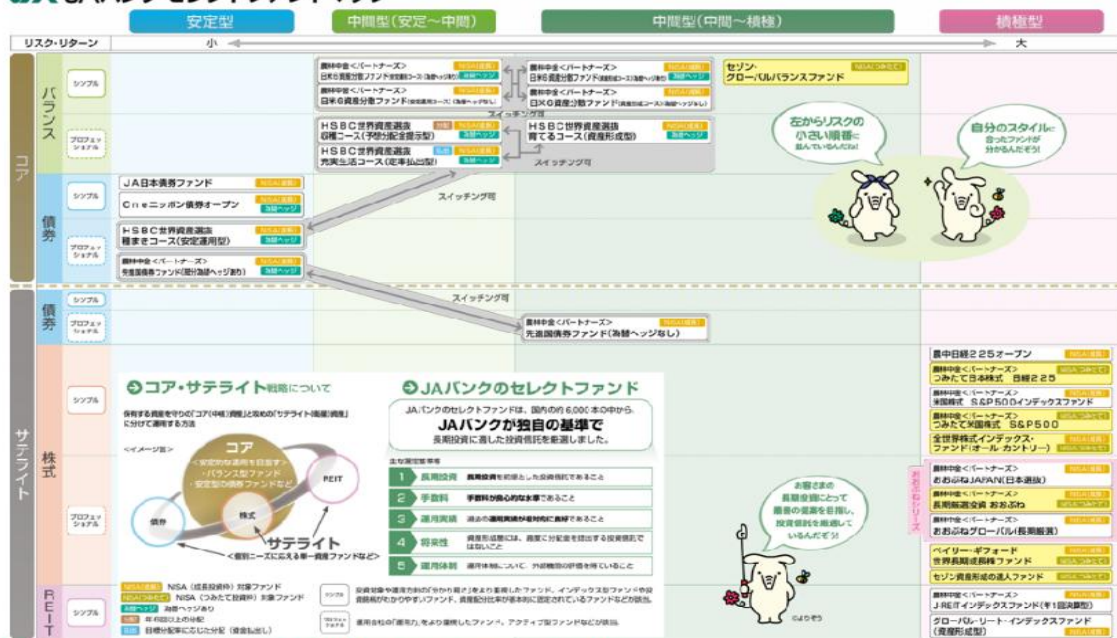
2 組合員利用者本位の提案と情報提供②

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1～5）】

（1）信用の事業活動

- お客さまの投資判断に資するよう、資産運用の必要性から商品の絞り込みまでについて資産運用ガイダンスやスタイル診断シートを用いて必要な情報を十分にご提供します。また、J Aバンクセレクトファンドマップにより商品のリスク特性・手数料・その他重要な情報を分かりやすく丁寧に説明いたします。
- なお、2022年4月から重要情報シートを導入しております。

JAバンク セレクトファンドマップ



（投資信託は別冊「投資信託」でご確認ください。お申し込みは下記までお問い合わせください。）

はい農業協同組合
登録金融機関 北陸財務局長（登金）第107号

一定の投資性金融商品の販売・販売中に係る「重要情報シート」
（金融商品販売書）

1. 当組合の基本情報（当組合はお客様に金融商品の販売（又は販売仲介）をする者です）	
組合名	はい農業協同組合
登録番号	北陸財務局長（登金）第107号
加入協会	新井組
当組合の概要を記したウェブサイト	https://www.hi-japan.co.jp/

2. 取組商品（当組合がお客様に提供できる金融商品の種類は次のとおりです）		
貯蓄（投資性なし）	○	貯蓄（投資性あり）
国内株式	○	外国株式
債券	○	外国債券
外国債券（仕組債券）	○	投資信託
ファンド	○	ETF、ETN
REIT	○	その他の上場商品
保険（投資リスクなし）	○	保険（投資リスクあり）
その他	○	

※他に提供可能な商品があります。

3. 商品ラインナップの考え方（商品ラインナップのコンセプトや特徴は次のとおりです）

1. JAバンクでは、いろいろな投資に関するお悩みにお応えできるよう、お客さまの投資目的やリスク許容度に応じて、一定の商品ラインナップを提供しています。

2. JAバンク セレクトファンドは、主に以下の基準に基づき商品を選定しています。選定にあたっては外部の有価証券の信用を重視し、長期投資に適した商品を選定しています。

3. 長期投資 長期投資を前提とした商品であることを確認すること

4. 手数料 手数料が低く抑えられること

5. 運用実績 過去の実績が安定していること

6. 将来性 将来の成長性が高いこと

7. 運用体制 運用体制が確立されていること

8. 投資目的 投資目的に応じて、商品ラインナップを提供しています。

9. JAバンクでは、お客さまの投資目的やリスク許容度に応じて、一定の商品ラインナップを提供しています。

10. JAバンクでは、お客さまの投資目的やリスク許容度に応じて、一定の商品ラインナップを提供しています。

11. JAバンクでは、お客さまの投資目的やリスク許容度に応じて、一定の商品ラインナップを提供しています。

12. JAバンクでは、お客さまの投資目的やリスク許容度に応じて、一定の商品ラインナップを提供しています。

13. JAバンクでは、お客さまの投資目的やリスク許容度に応じて、一定の商品ラインナップを提供しています。

14. JAバンクでは、お客さまの投資目的やリスク許容度に応じて、一定の商品ラインナップを提供しています。

15. JAバンクでは、お客さまの投資目的やリスク許容度に応じて、一定の商品ラインナップを提供しています。

16. JAバンクでは、お客さまの投資目的やリスク許容度に応じて、一定の商品ラインナップを提供しています。

17. JAバンクでは、お客さまの投資目的やリスク許容度に応じて、一定の商品ラインナップを提供しています。

18. JAバンクでは、お客さまの投資目的やリスク許容度に応じて、一定の商品ラインナップを提供しています。

19. JAバンクでは、お客さまの投資目的やリスク許容度に応じて、一定の商品ラインナップを提供しています。

20. JAバンクでは、お客さまの投資目的やリスク許容度に応じて、一定の商品ラインナップを提供しています。

I.取組状況

2 組合員・利用者本位の提案と情報提供③

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1・2・4・5）】

（2） 共済の事業活動

① 組合員・利用者の皆さまに寄り添った保障提案や情報提供等

- ・ 組合員・利用者の皆さまに対して、公的保険制度を踏まえて必要な保障にご加入いただけるよう、ライフプランシミュレーターなどにより、分かりやすく説明しております。



ライフプランシミュレーターイメージ

② 意向把握・確認と重要事項説明の実施

- ・ 保障の加入にあたっては、「保障設計書」を用いて組合員・利用者の皆さまのご意向を的確に把握・確認したうえで、十分に保障内容をご理解・ご納得いただけるよう、分かりやすい重要事項説明（契約概要・注意喚起事項）を実施しております。



重要事項説明書
（契約概要）



重要事項説明書
（注意喚起情報）

I.取組状況

2 組合員・利用者本位の提案と情報提供③

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1・2・4・5）】

（2）共済の事業活動

③ ご高齢の組合員・利用者の皆さまに配慮した取組み

- ・ 生命総合共済・建物更生共済にご加入いただく組合員・利用者の皆さまがご高齢の場合は、ご提案時およびご契約の手続きを行う際に、ご親族の方に同席、電話等により確認いただく対応を基本としています。
- ・ 高齢者対応における親族等の同席の割合は、令和6年度は**68.8%**となりました。
- ・ なお、令和7年度から新たに「共済契約のお手続きに関するご案内」をお渡しし、ご契約者さま・被共済者さまだけでなく、ご親族の方にもご安心いただけるよう努めております。



共済契約のお手続きに関するご案内

I .取組状況

2 組合員・利用者本位の提案と情報提供③

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1・2・4・5）】

（2）共済の事業活動

④ 各種手続きとアフターフォローの実施

- ・ 各種手続きの実施にあたっては、組合員・利用者の皆さまに分かりやすくご説明しております。
- ・ 将来、ご自身によるお手続きが困難になった場合の備えとして、「指定代理請求人」にご家族を指定いただくことをご案内しております（生命総合共済の場合）。
- ・ 令和5年度からは支払い請求手続きの簡素化を推し進めるなど、組合員・利用者の皆さまの利便性向上に向けて取り組んでおります。
- ・ ご加入後も、3Q活動を通じて定期的な保障確認や共済金等の請求勧奨を実施するなど、組合員・利用者の皆さまに寄り添った取組みを実施しております。
令和6年度の3Q活動実施数は**6,737人**となりました。
- ・ 保障の加入にあたり、共済掛金の他に組合員・利用者の皆さまに手数料等にご負担いただいております。

3 利益相反の適切な管理 【原則3本文および（注）】

- 組合員・利用者の皆さまの利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき、適切に管理しております。
- 営業部門から独立した監査室を設定のうえ、利益相反のおそれのある取引を特定し利益相反を管理しております。
- 以下の観点で利益相反のおそれのある取引を類型化し、効率的に管理することで、遺漏なく利益相反取引を検知する体制を整えています。
 - ①組合員・利用者の皆さまと当組合の間の利益が相反する類型
（例：経済事業を利用する際の前提として、共済事業の利用を条件とする場合）
 - ②特定の組合員・利用者の利益を他の組合員・利用者の皆さまの利益より優先する取引
（例：接待・贈答を受け、または行うことにより、特定の取引先との間で一般的な水準から乖離した水準で取引を行う場合）

4 組合員・利用者本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

① 組合員・利用者本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

- 当組合は、お客さまに最適な金融商品の提供を行うため、提案力向上に向け定期的に勉強会の開催や資格取得の推進を通じて人材の育成を図り、お客さまに対して、最適な金融商品、共済仕組み・サービスを提供できるよう、継続的に職員育成を行う態勢を構築します。

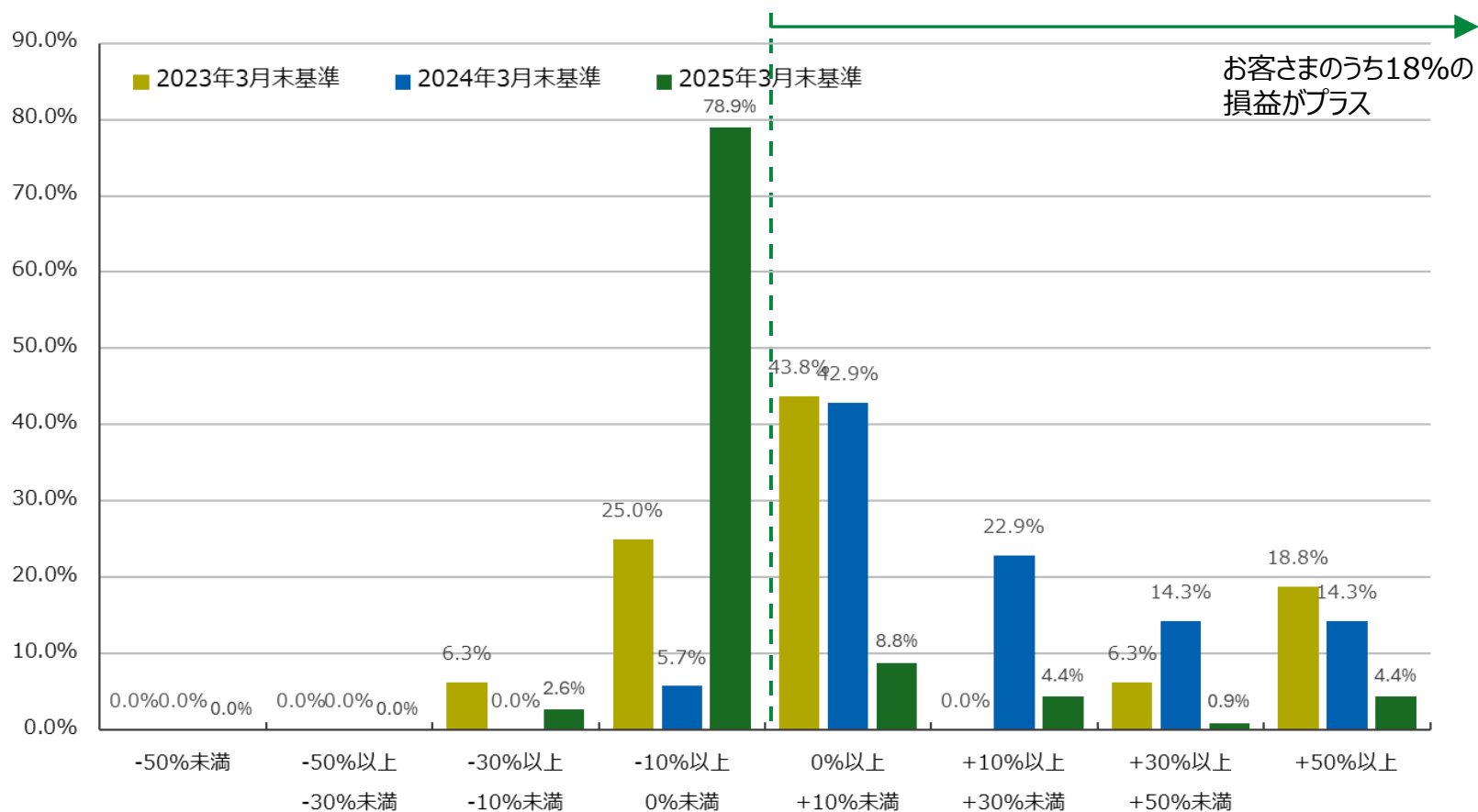
② 組合員・利用者の皆さまの声を活かした業務改善

- 当組合は、お客さまから日々寄せられるさまざまな「声（お問合せ・ご相談、ご要望、苦情など）」を誠実に受け止め、その声に込められた「思い」を大切に業務改善に努めております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

1 運用損益別顧客比率（投資信託）

- 「運用損益別顧客比率」は、組合員・利用者の皆様へ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2025年3月末時点では全体の18%のお客さまの損益がプラスとなりました。

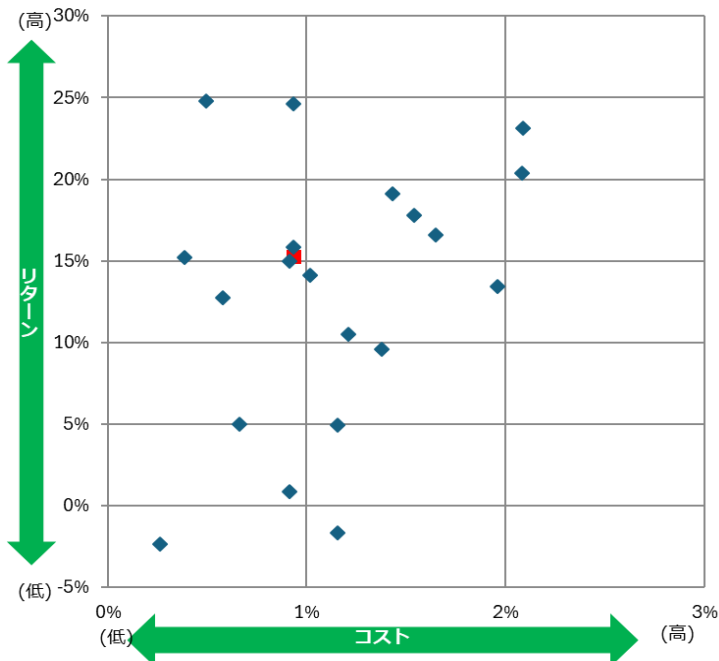


Ⅱ.比較可能な共通 K P I

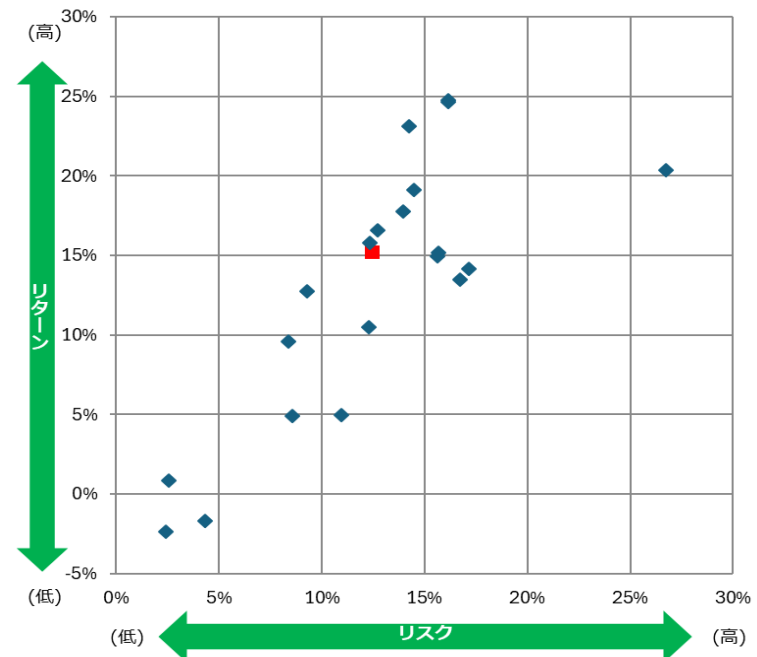
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/3）（2025年3月末）

- ・ J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績を組合員・利用者本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- ・ 2025年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.94%、平均リスク12.45%に対して、平均リターンは15.23%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



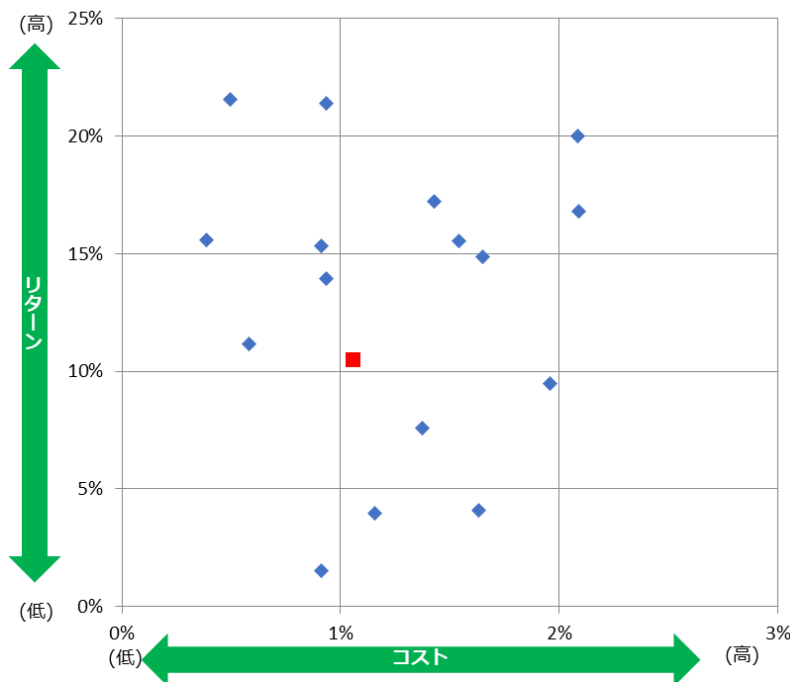
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

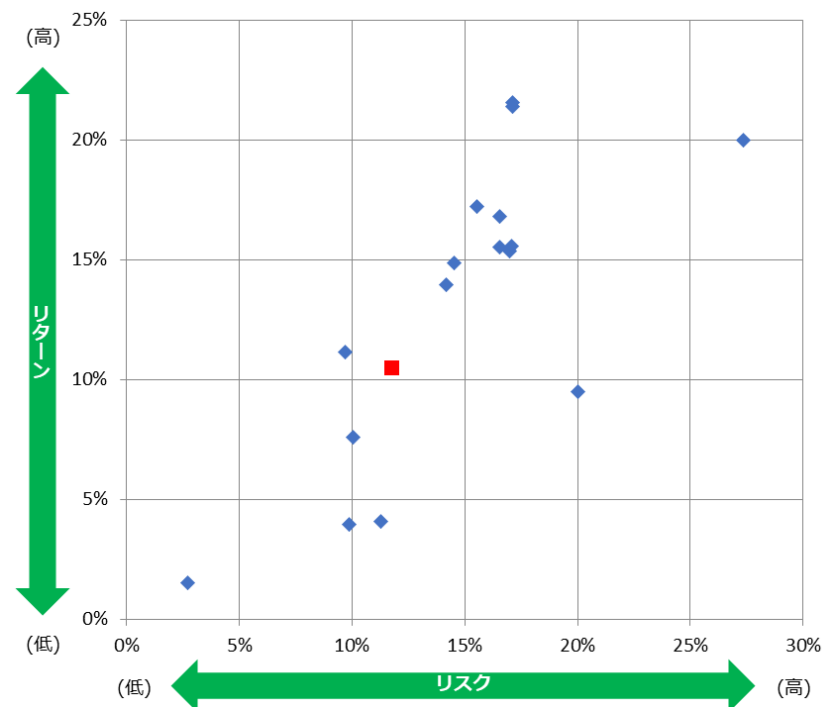
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2/3）（2024年3月末）

- 2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.06%、平均リスク11.77%に対して、平均リターンは10.48%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



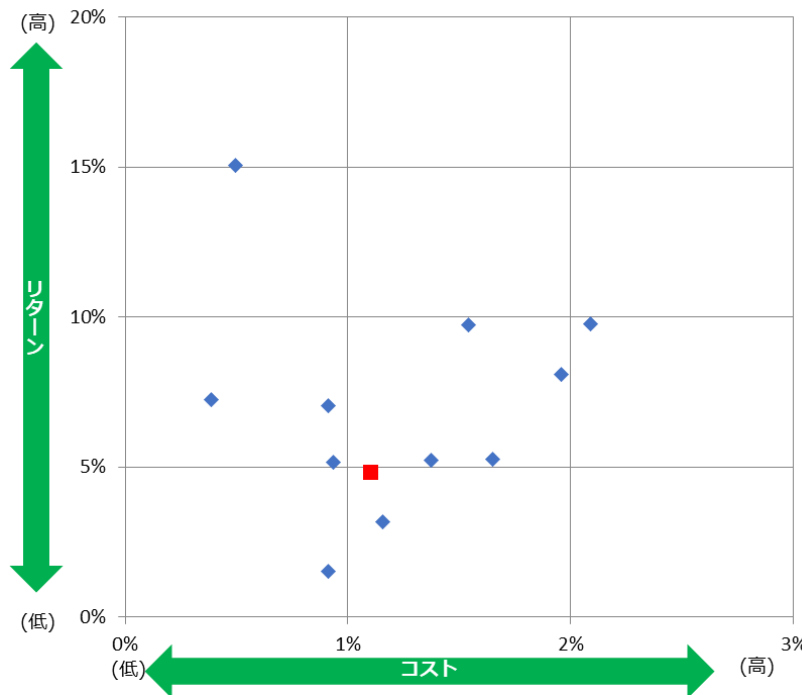
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2023年3月末)

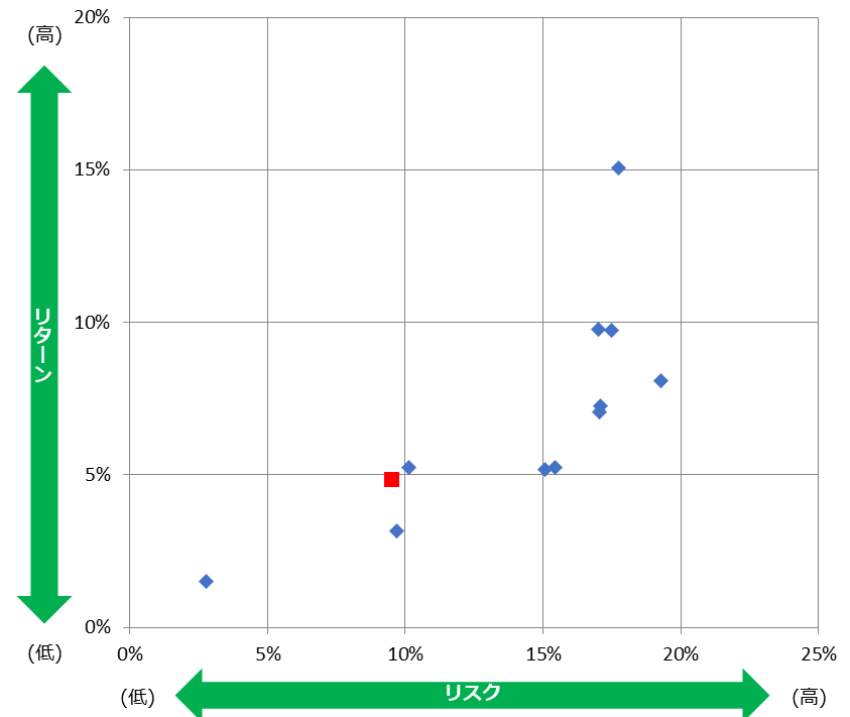
- 2023年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.10%、平均リスク9.50%に対して、平均リターンは4.84%となりました。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/3）（2025年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	つみたて米国株式 S & P 5 0 0	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	24.77%	16.16%	0.50%
2	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	24.62%	16.15%	0.94%
3	日米6資産分散ファンド（資産形成コース）	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	4.93%	8.59%	1.16%
4	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne（株）	0.87%	2.57%	0.91%
5	つみたて日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	15.19%	15.67%	0.39%
6	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信（株）	12.76%	9.29%	0.58%
7	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信（株）	17.77%	13.93%	1.54%
8	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	14.96%	15.62%	0.91%
9	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	19.14%	14.48%	1.43%
10	世界の財産3分法ファンド（毎月分配型）	日興アセットマネジメント（株）	9.60%	8.39%	1.38%
11	おおぶね J A P A N（日本選抜）	農林中金バリューインベストメンツ（株）	10.52%	12.27%	1.21%
12	J A 海外株式ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	23.13%	14.24%	2.09%
13	J A 日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	-2.36%	2.41%	0.26%
14	J A 日本株式ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	16.59%	12.72%	1.65%
15	ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント（株）	20.35%	26.74%	2.08%
16	ダイワ・グローバルREIT・オープン	大和アセットマネジメント（株）	13.46%	16.74%	1.96%
17	日米6資産分散ファンド（安定運用コース）	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	-1.66%	4.34%	1.16%
18	グローバル・リート・インデックスファンド（資産形成型）世界のやどかり	大和アセットマネジメント（株）	14.15%	17.14%	1.02%
19	J A T O P I X オープン	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	15.82%	12.33%	0.94%
20	J - R E I T インデックス（年1回決算型）	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	4.99%	10.96%	0.66%
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		15.23%	12.45%	0.94%

※ 2025年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は20本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/3) (2024年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	3.95%	9.89%	1.16%
2	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne(株)	1.52%	2.73%	0.91%
3	つみたてNIISA米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.55%	17.11%	0.50%
4	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.34%	17.00%	0.91%
5	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.40%	17.11%	0.94%
6	世界の財産3分法ファンド(毎月分配型)	日興アセットマネジメント(株)	7.59%	10.06%	1.38%
7	JA海外株式ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	16.82%	16.55%	2.09%
8	JA日本株式ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	14.87%	14.53%	1.65%
9	つみたてNIISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.57%	17.06%	0.39%
10	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	15.53%	16.54%	1.54%
11	ダイワ・グローバルREIT・オープン	大和アセットマネジメント(株)	9.47%	20.01%	1.96%
12	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	11.15%	9.72%	0.58%
13	ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント(株)	19.98%	27.37%	2.08%
14	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	17.22%	15.52%	1.43%
15	HSBC世界資産選抜 育てるJ-ス(資産形成型)	HSBCアセットマネジメント(株)	4.09%	11.30%	1.63%
16	JA TOPIXオープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	13.95%	14.20%	0.94%
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		10.48%	11.77%	1.06%

※ 2024年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は16本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2023年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne (株)	1.52%	2.76%	0.91%
2	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	3.16%	9.68%	1.16%
3	つみたてNISA米国株式 S & P 500	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	15.05%	17.74%	0.50%
4	世界の財産3分法ファンド(毎月分配型)	日興アセットマネジメント (株)	5.23%	10.14%	1.38%
5	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	7.05%	17.04%	0.91%
6	JA海外株式ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	9.76%	16.99%	2.09%
7	JA日本株式ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	5.24%	15.43%	1.65%
8	ダイワ・グローバルREIT・オープン	大和アセットマネジメント (株)	8.09%	19.30%	1.96%
9	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	7.26%	17.10%	0.39%
10	JA TOPIXオープン	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	5.17%	15.06%	0.94%
11	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信 (株)	9.73%	17.50%	1.54%
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		4.84%	9.50%	1.10%

※ 2023年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は11本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。